



センコーグループ
第104期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

センコーグループ 第104期 報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

目次

- 1 グループ企業理念・体制
- 2 株主の皆さまへ
- 5 セグメント別の概況
- 7 CSR/ESG
- 9 フォーカス
- 11 トピックス
- 13 財務諸表グラフ

グループ企業理念

ミッション 普遍的な使命

人を育て、人々の生活を支援する企業グループとして、
物流・商流事業を核に、未来を動かす
サービス・商品の新潮流の創造にたゆみなく挑戦し、
真に豊かなグローバル社会の実現に貢献します。

ビジョン 目指す企業グループ像

未来潮流をつくる 企業グループ

スローガン ミッション&ビジョンに込めた想い

Moving Global

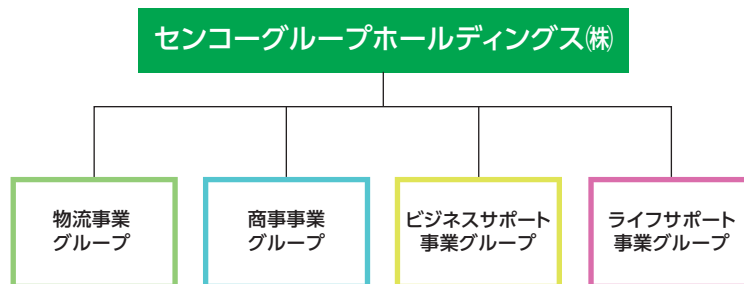
物流を超える、世界を動かす、ビジネスを変える。

バリュー グループの全社員が共有する価値観 (IP CReD)

誠実・情熱・責任・敬意・多様性

Integrity Passion Commitment Respect Diversity

グループ体制



中期経営計画の最終年度を迎え、人々の生活を支援する 企業グループとして、持続的な成長を図ります。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに第104期における営業の概況と決算につきまして
報告申し上げます。



センコーグループ
ホールディングス
株式会社
代表取締役社長
福田 泰久

当期の事業環境

当期の経済環境は、新型コロナウイルス感染症による1回目の緊急事態宣言の解除後、徐々に経済活動が再開したものの、新型コロナウイルス感染症は再拡大を繰り返しており、非常に厳しい経営環境となりました。

当期の取り組み

このような中、当社グループは中期経営5カ年計画「センコー・イノベーションプラン2021 (SIP21)」の4年目として、業績の回復と向上に努めてまいりました。

物流事業においては、12月に、重量物の輸送事業などを行っている「株式会社UACJ物流」ならびに、化学品の保管、輸送、流通加工などを行っているナガセ物流株式会社（「センコーナガセ物流株式会社」に商号変更）をグループに迎えました。物流センターは、センコー株式会社が7月に「立川物流センター」（東京都立川市）、2月に「栗橋PDセンター」（埼玉県加須市）を稼働させました。また、株式会社ランテックが4月に「門司支店」（北九州市）で、3月に「名港支店」（名古屋市中区）で冷凍冷蔵倉庫を稼働させました。海運事業では、センコー汽船株式会社が5月にケミカルタンカー

「日扇丸」、日本マリン株式会社が8月にケミカルタンカー「吉祥」、3月にはセンコー汽船株式会社が貨物船「扇桜丸」を新造・就航させました。

海外では7月、ドイツ・デュッセルドルフ市に現地法人「Senko Logistics (Europe) GmbH」を設立し、欧州物流ネットワーク構築に向け体制強化に取り組みました。

商事・貿易事業においては、2月に家庭紙の卸売事業を行う「アズフィット株式会社」をグループに迎え、グループ内で同じく家庭紙卸売を行っているアスト株式会社との相乗効果を図ってまいります。

その他事業においては、8月に保育所や学童クラブなどを運営する「株式会社プロケア」を、11月に会員制の卸売・小売業を営む「寺内株式会社」をグループに迎えました。また、デイサービス店舗などを運営する株式会社ビーナスは6カ所、住宅型老人ホームなどを運営する株式会社けいはんなヘルパーステーションは2カ所、回転寿司チェーンを

運営する株式会社ライフイトは1カ所、新規出店をいたしました。

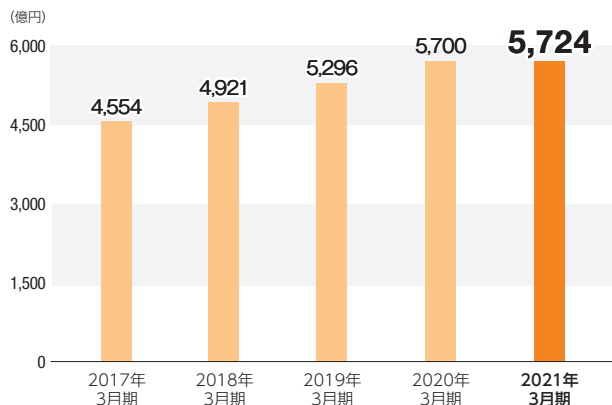
環境負荷低減への取り組みについては、センコー株式会社が日本物流団体連合会から、6月に「物流環境保全活動賞」「物流環境特別賞」を、11月に「令和2年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を、12月には東京納品代行株式会社が国土交通省から「令和2年度交通関係環境保全優良事業者大臣表彰」を受賞しました。

当社は、10月に「国連グローバル・コンパクト」に署名し、参加企業として登録されました。当社は、人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止に関わる10の原則を支持し、人々の生活を支援する企業グループとして持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

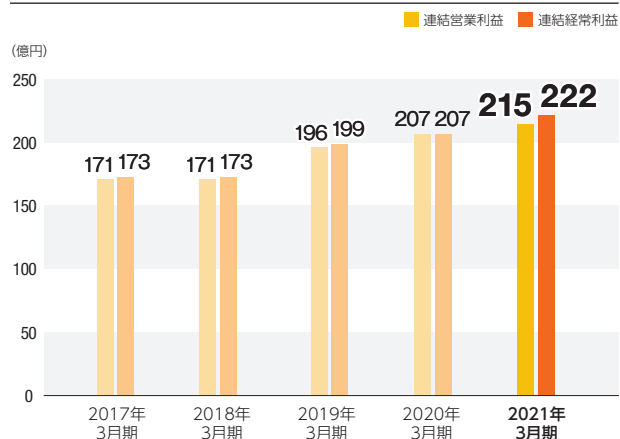
当期の業績結果

当期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく

連結営業収益(売上高)



連結営業利益/連結経常利益



受けましたが、拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上にグループ全体で取り組むと共に、M&Aを推進した結果、連結営業収益、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前期を上回る結果となりました。

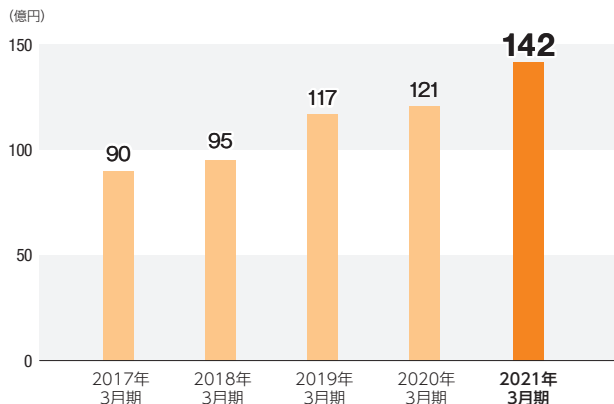
今後の取り組みと見通し

今後の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念もあり、先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

このような環境の中、当社グループは中期経営5カ年計画の最終年度を迎え、人々の生活を支援する企業グループとして、持続的な成長を図ってまいります。

次期連結業績予想は、連結営業収益6,250億円、連結営業利益246億円、連結経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益145億円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益



期末配当金を2円増配

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としています。

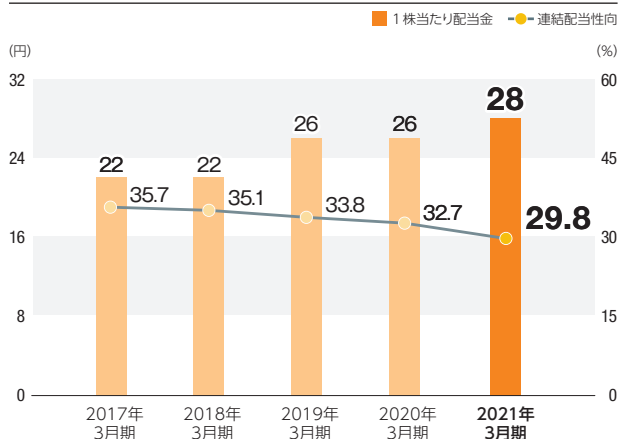
この基本方針のもと、2021年3月期の期末配当金につきましては、年間の業績が順調に推移したことを勘案し、1株当たり15円とし、既に実施している中間配当金13円と合わせまして、年間配当金を28円といたしました。

2022年3月期の配当予想は、業績予想を踏まえ、年間配当1株当たり30円(中間配当15円、期末配当15円)とさせていただきます。

免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

1株当たり配当金／連結配当性向



当期(104期)のセグメント別(事業別)の概況をお知らせします

物流事業 営業収益 **3,874** 億円 営業利益 **194** 億円

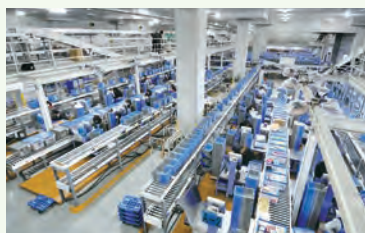
チェーンストア関連の物量増がありました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、住宅、ケミカル、冷凍冷蔵物量などが大きく減少し、営業収益は3,873億50百万円と対前期比53億77百万円の減収となりました。拡販、経費削減ならびにコスト改善・生産性向上に取り組むと共に、(株)UACJ物流ならびにセンコーナガセ物流(株)の連結子会社化などにより、セグメント利益は194億1百万円と対前期比15億54百万円の増益となりました。



流通ロジスティクス

事業収入 **2,295** 億円

当期の収入は2,295億円と対前期比54億円の増収となりました。



住宅物流

事業収入 **583** 億円

当期の収入は583億円と対前期比50億円の減収となりました。



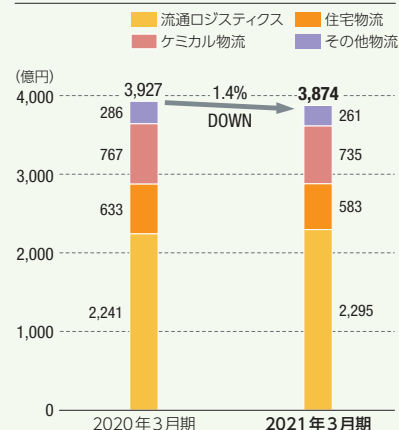
ケミカル物流

事業収入 **735** 億円

当期の収入は735億円と対前期比33億円の減収となりました。



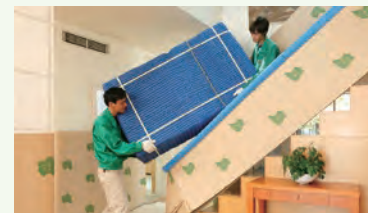
事業収入

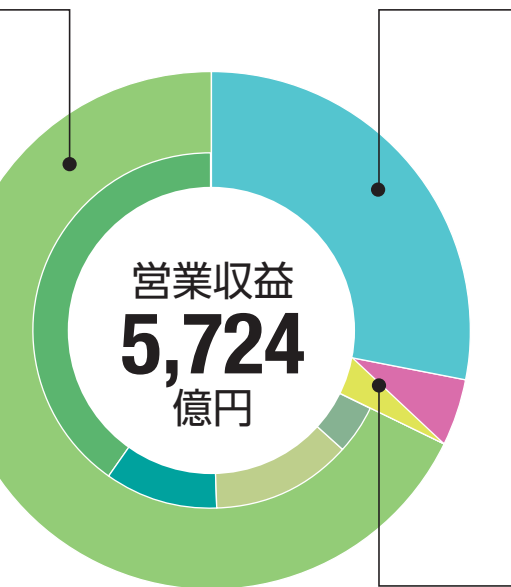


その他物流

事業収入 **261** 億円

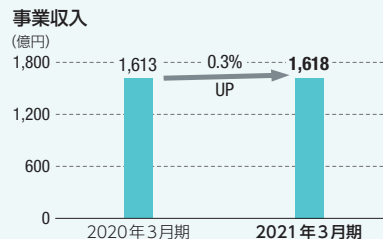
当期の収入は261億円と対前期比25億円の減収となりました。





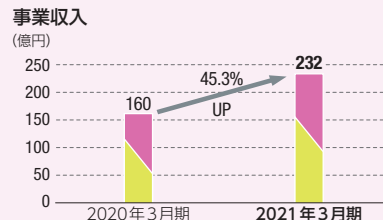
商事・貿易事業 営業収益 **1,618** 億円 営業利益 **30** 億円

宅配ニーズ増加に伴う日用品の販売増、家庭紙の価格是正の推進などにより、営業収益は1,618億20百万円と対前期比5億5百万円の増収、セグメント利益は30億35百万円と対前期比9億15百万円の増益となりました。



その他事業 営業収益 **232** 億円 営業損失 **1** 億円

(株)プロケアならびに寺内(株)の連結子会社化などにより、営業収益は232億35百万円と対前期比72億47百万円の増収となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ホテル、フィットネスジム、デイサービス、飲食店などの利用者が大きく減少し、セグメント損失は61百万円と対前期比14億81百万円の減益となりました。



CSR/ESGを経営の重要施策の1つとして積極的に取り組んでいます

地域・各地の産業、文化、自然を守り、育て、社会とともに成長するため、当社グループはCSR/ESG重視を経営方針の1つとして取り組んでいます。ここではその取り組みの一部をCSR報告書の中から紹介します。



CSR報告書は当社WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.senkogrouphd.co.jp/csr/report/>

食のインフラを冷凍・冷蔵輸送で守っています

食のインフラを守り生活を支える冷凍・冷蔵輸送

食品物流は、人々の生活に欠かせないライフラインであり、「安全・安心」に届ける重責を担っていることを認識しています。とりわけ、温度管理と誤出荷・誤配送の防止、異物混入防止に重点を置き、厳密な管理を徹底しています。今後も増加する食品物流の需要に応えていきます。



温度管理を徹底し、冷凍・冷蔵品の品質を保つ

冷凍・冷蔵品の品質を維持するため、倉庫全体で自動制御による温度・湿度管理を行っています。陽圧空調による外気の流入防止によって+5℃に保つとともに、除湿機によって常時除湿。また-25℃の冷凍倉庫では、自動化によるスピーディーな搬送で、商品の品質維持につなげています。



7,000棚収納可能な自動冷凍倉庫

環境活動

廃棄される卵の殻を使い、 紙およびプラスチックの使用量を削減

センコー商事(株)は、廃棄される卵の殻を紙や樹脂に配合したバイオ素材に着目。まず、名刺の商品化を開始し、今後、クリアファイルなどで、従来のプラスチックに代わる環境配慮型商品も増やしていく計画です。



CaMISHELL®
材料の30%~50%に
卵殻を使用した紙

社会活動

アジアの子どもへ絵本を寄付する 活動に従業員が参加

センコー商事(株)は、(公社)シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に参加。従業員が20冊の絵本に翻訳文を記したシールを貼り、運営団体を介してミャンマーの難民キャンプおよびラオスに届けました。



安全活動

(社)全日本トラック協会の「安全性優良 事業所」に98%の事業所が認定

当社グループは、安全マネジメントシステムに沿った安全活動の一環として「安全性優良事業所認定」の取得に取り組み、2021年3月末現在で98%の事業所が認定を受けています。



「安全性優良事業所認定」：
交通安全対策などの取り組みが一定
の基準をクリアしたと判断された事業
所を(社)全日本トラック協会が認定する
制度。

健康活動

センコーグループ独自の健康アプリで 健康データをレコーディング

コロナ禍でも対応できる「新しい健やか活動」として、2021年5月から、当社グループ独自の健康アプリ「チャレコ」(Challenge+Recording)を活用。生活習慣に関するさまざまな情報(体重、食事、睡眠、飲酒、喫煙、運動習慣など)を記録し、意識することで生活習慣の改善につなげています。



健康アプリ「チャレコ」

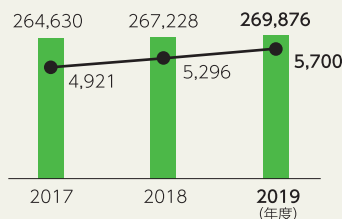
ESG情報について積極的に開示しています

センコーグループは、株主・投資家の方々に向けた環境・社会・ガバナンス (Environment, Social, Governance) の情報開示にも積極的に取り組んでおります。

E nvironment

CO₂排出量※1
単位:t-CO₂

269,876
t-CO₂

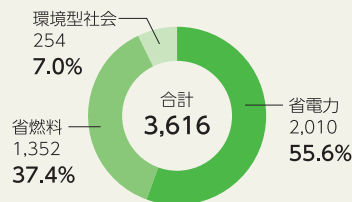


連結売上高
単位:億円

5,700
億円

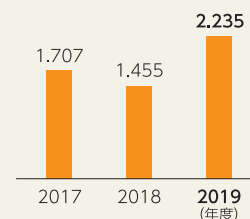
CO₂削減活動実績
単位:t-CO₂

省電力 **2,010** t-CO₂
省燃料 **1,352** t-CO₂
環境型社会 **254** t-CO₂



労働災害度数率※3
単位:度数率

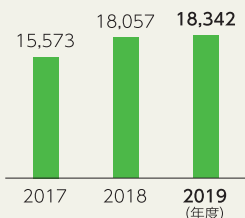
2.235



※1:Scope1+Scope2計

再生可能エネルギー
太陽光発電実績
(センコー単体)
単位:1000kWh

18,342千kWh



グリーン物流
モーダルシフト率
単位:%

70.0%



環境配慮
車両保有比率※2
単位:台

66%



※2:自家非営業車両は除く

新卒採用者に占める
女性の割合
単位:%

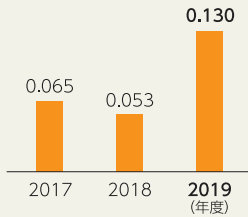
46.4%



Governance

労働災害強度率^{※3} 単位:強度率

0.130



※3:対象範囲
(センコー(株)、センコーグループ物流会社)

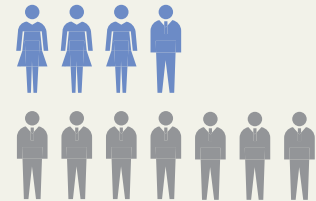
社会貢献活動 単位:人

清掃活動 14,619人
交通安全活動 1,922人
献血活動 1,129人



社外取締役員数 単位:%

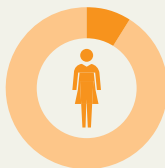
36%



(2021年6月25日現在)

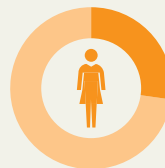
管理職に占める女性の割合 単位:%

9.1%



女性取締役比率 単位:%

27.3%



(2021年6月25日現在)

社外監査役比率 単位:%

50%



各事業の拡大とともに、グリーン物流への取り組みも進めています

物流拠点のさらなる拡充に取り組んでいます

センコー(株)は2021年2月、埼玉県加須市に栗橋PDセンターを開業。東北自動車道の加須ICから約5kmと便がよく、近隣拠点との連携で圏央道周辺の旺盛な物流拠点ニーズに対応していきます。

また、(株)ランテックは、同年3月、名古屋市港区にある(株)マルハニチロ物流 名古屋物流センター内に、名港支店を稼働。伊勢湾岸道の名港中央ICから約1kmの好立地で、冷却設備には自然冷媒(アンモニアCO₂)を採用するなど、環境にも配慮しています。

これからも、多様化する物流需要に応えてまいります。



センコー(株) 栗橋PDセンター



(株)ランテック 名港支店

M&Aで国内外の物流体制を強化

センコー(株)は、2020年12月に化学系専門商社で国内トップの長瀬産業(株)のグループ会社、ナガセ物流(株)を子会社化しました(センコーナガセ物流(株)に社名変更)。ナガセ物流が持つ全国約100拠点の寄託倉庫と連携し、ケミカル物流を強化していきます。

また、2021年4月、オーストラリアを拠点に30年以上の実績があるエアロード社(AirRoad Pty Ltd)をグループ化しました。当社の既存拠点と合わせ、年々人口が増加するオーストラリアでの物流拡大に対応していきます。

今後ともM&Aにより、事業の拡大を進めてまいります。



センコーナガセ物流株式会社



東京～名古屋～大阪間の長距離「貨客混載」輸送を開始。

2021年4月、センコー(株)は国内トップクラスの高速バス会社、WILLER EXPRESS(株)と、乗客とともに荷物を運ぶ「貨客混載」輸送を東京～名古屋～大阪間で開始しました。

センコーがバスの出発地までと到着後の配送を担当。長距離バスの荷物スペースを利用することでトラックより低価格で提供でき、他路線への展開も進める予定です。



家庭紙卸売業のアズフィット(株)を子会社化

当社は2021年2月、家庭紙の卸売を行うアズフィット(株)をグループに迎えました。

アズフィット(株)は、首都圏を中心にドラッグストア、スーパーなどへ家庭紙や日用雑貨を販売。「紙と不織布」を素材とした商品開発にも積極的に取り組んでいます。

当社グループのアスト(株)も国内大手の家庭紙専門商社で同じ家庭紙卸売を行っており、経営資源やノウハウなどの相互利用などによる商品開発力、価格競争力の向上、販路開拓による事業基盤の強化などの相乗効果を目指します。



総合卸売・小売業の寺内(株)を子会社化

当社は2020年11月、総合卸売・小売事業を行う寺内(株)をグループ化しました。

寺内(株)は、個人会員100万人を有する会員制の卸売・小売業の老舗企業で、服飾雑貨、ブランド品、衣料品、日用雑貨、化粧品、食品など幅広く販売。また、生活雑貨「クローワッサン」ブランドなどの店舗を25店展開し、ネットストア販売も行っています。

寺内(株)のグループ化により、寺内(株)の会員に対して老人ホームや介護、保育などのサービスを提供するなど、多様なシナジーを生み出していきます。



グリーン物流への取り組みで連続して受賞しました。

2020年11月、センコー(株)は日本物流団体連合会から「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞。幹線区間での鉄道・海運利用率が40%を超えるなどが評価されました。同年12月にも、東京納品代行(株)が、お客さまと共同で国内初の電気トラックでのハンガー車導入などから、国土交通省から「交通関係環境保全優良事業者大臣表彰」を受賞しました。



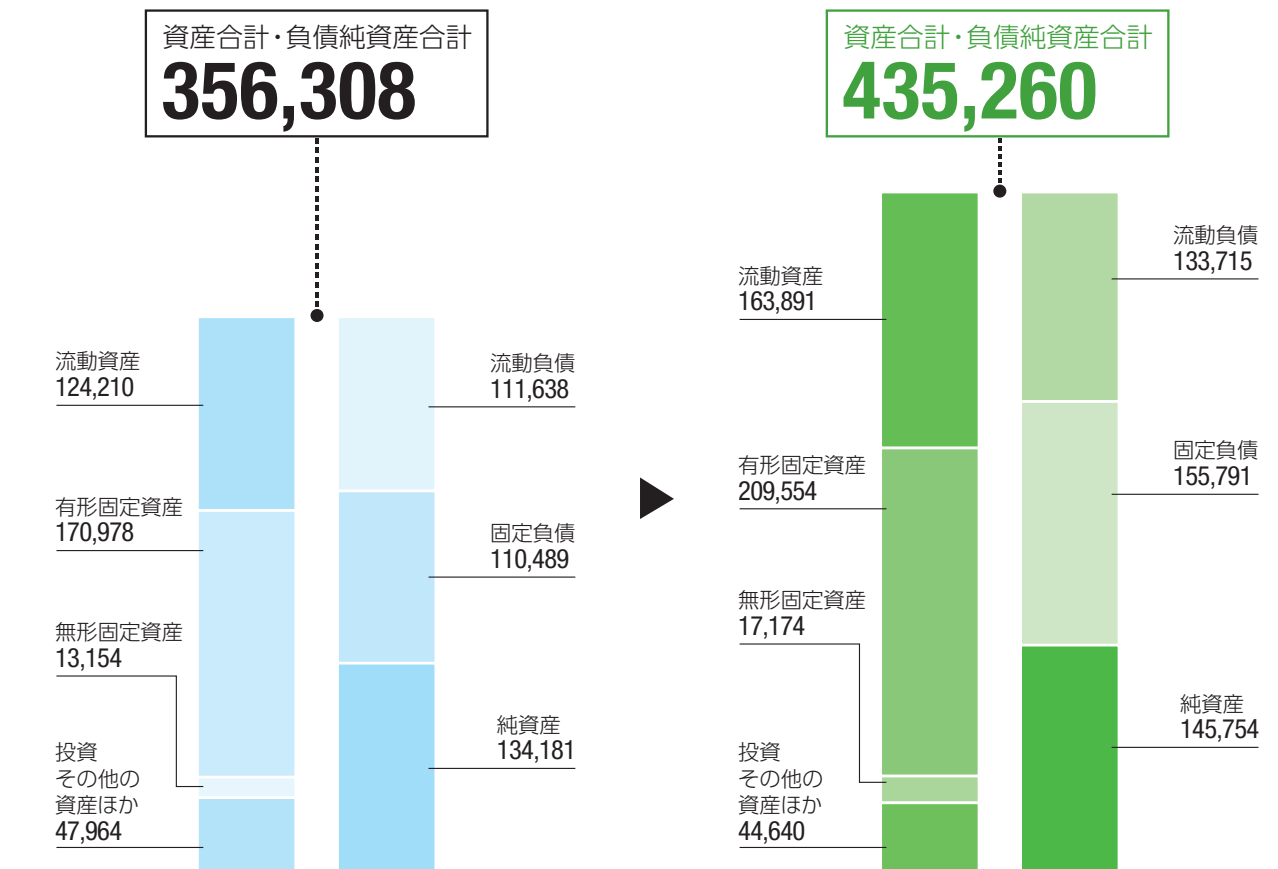
連結財務状況

貸借対照表の概要

単位：百万円

2020年3月31日

2021年3月31日



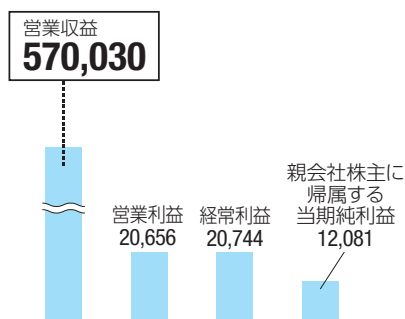
詳細な財務諸表は、下記URLもしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.senkogrouphd.co.jp/ir/library/brief/>



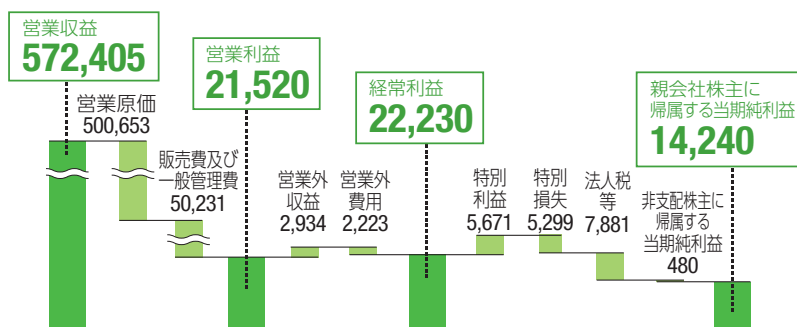
損益計算書の概要

単位：百万円

2019年4月1日～2020年3月31日



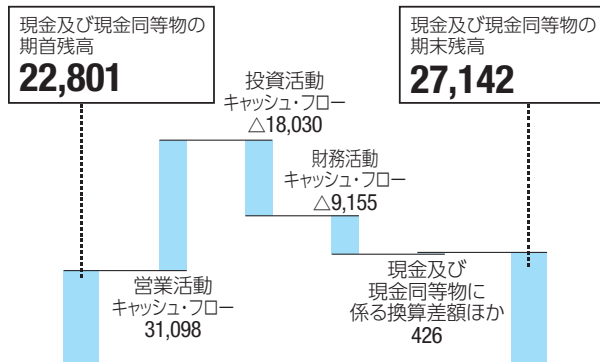
2020年4月1日～2021年3月31日



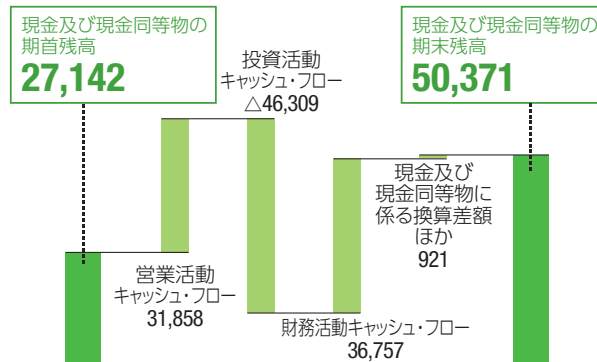
キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2019年4月1日～2020年3月31日



2020年4月1日～2021年3月31日



会社概要 (2021年3月31日現在)

商 号 センコーグループホールディングス株式会社
(SENKO Group Holdings Co., Ltd.)

創 業 1916年9月

設 立 1946年7月

本 社 所 在 地 東京都江東区潮見二丁目8番10号

資 本 金 265億64百万円

グループ従業員数 19,755名

グループ会社数 141社(子会社132社、関連会社9社)

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	福田 泰久	常勤監査役	鷲田 正己
取締役常務執行役員	佐々木 信郎	常勤監査役	上中 正敦
取締役常務執行役員	白木 健一	常勤監査役	松友 泰
取締役	山中 一裕	監査役	岡野 芳郎
取締役	米司 博	常務執行役員	大野 茂
取締役	谷口 玲	常務執行役員	竹谷 聡
取締役	高梨 利雄	執行役員	篠原 信治
取締役	飴野 仁子	執行役員	森口 嘉久
取締役	杉浦 康之	執行役員	長友 孝司
取締役	荒木 葉子	執行役員	田中 正志
取締役	奥野 史子	執行役員	小久保 悟
		執行役員	増田 康裕
		執行役員	新田 浩隆

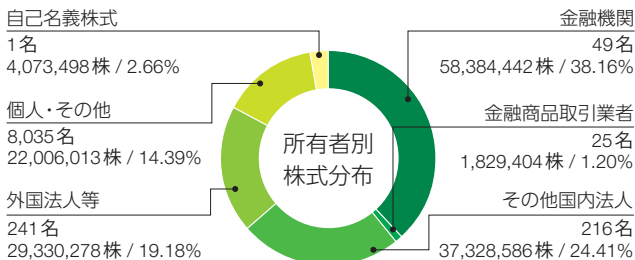
株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株

発行済株式総数 152,952,221株

株 主 総 数 8,567名

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.senkogrouphd.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内
税務関係のお手続きのため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーをお届いただく必要がございます。お届出のお手続きについては、口座を開設されている証券会社などへお尋ねください。

センコーグループホールディングス株式会社

URL <https://www.senkogrouphd.co.jp>

〒135-0052 東京都江東区潮見二丁目8番10号

公式 Instagram
[senko_group.official](https://www.instagram.com/senko_group.official)

